

## 「2015年合意において市場メカニズムが意味するもの」

### 傍聴報告

2016年1月13日

一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2015年11月30日～12月13日にフランス・パリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21)・京都議定書第11回 (CMP11) 締約国会合において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル：2015年合意において市場メカニズムが意味するもの (“Market mechanisms in the 2015 agreement – what might the outcome mean?”)
- 日時：2015年12月1日 (火) 11:30 - 13:00
- 主催：欧州政策研究センター (Centre for European Policy Studies: CEPS)
- 会場：Observer rm 02 (ル・ブルジェ会議場)
- プレゼンター (敬称略)：Lars Zetterberg (IVL Swedish Environmental Research Institute)、Andrei Marcu (CEPS)、Thomas Sterner (グーテンブルク大学)、Jean-Yves Caneill (EDF)、Christina Hood (国際エネルギー機関：IEA)

#### ■ 概要

- 2015年合意において市場メカニズムがどのような方向性で位置づけられるか、また、2015年合意が炭素市場にどのような影響を及ぼすか、について欧州の研究機関や経済学者により議論された。これまでに発表された交渉テキストにおける市場メカニズムに係るオプション案の分析が発表された後、パネルディスカッションがなされた。

#### ■ 発表内容 (敬称略)

##### 1. Lars Zetterberg (IVL Swedish Environmental Research Institute) :

- 京都議定書の枠組下では、ニュージーランド等の小規模な市場はあったものの、排出量取引制度 (ETS) に熱心に取り組んでいたのは欧州だけであったといえる。東京都、カリフォルニア州、ケベック州が ETS を構築した頃より、世界の ETS 取組が加速した。中国では経済特区 6 か所で試行排出量取引を実施済みで、2016年からは国家レベルで ETS を導入予定である。中国の市場規模は、少なくとも欧州の 2 倍にはなるだろう。国際炭素行動パートナーシップ (ICAP) の報告書によると、2016年には世界全体の GDP の半分が ETS によりカバーされる見込みである。
- カリフォルニア州とケベック州は ETS をリンクしており、成功している。カリフォルニア州とケベック州は季節が逆であるため、効率的に電力を使うことができる。オンタリオ州、ワシントン、米国とも将来的にリンクするかもしれない。

- EU-ETS はオーストラリアやカリフォルニア州とリンクする計画があったが実現しなかった。EU-ETS は現在のところ、国内の削減コストを最小化するツールとして機能しており、国際取引に活用されているとはいえない。各地域で様々な市場があるが、これら分散型市場が調和し国際取引がなされるようになれば、削減効率を上げられる。
- 合意のドラフト文書で「国際的な協力アプローチ」という文言が出てくるが、排出量取引を支持するものだろう。国連は取引ユニットの質を担保し、二重計上を回避するため役割を負うべきである。

## 2. Andrei Marcu (CEPS) : 「COP21 決定のドラフト文書における市場メカニズムに係る規定 (“Carbon market provisions: draft decision for COP21”)」

- 古典的なリンケージの考え方では、各市場のリンクを促進し国際移転を活発にするには努力レベルを等しくする必要がある。カリフォルニア州とケベック州のリンクが好例である。他方で、世界銀行の取組のように、分散型市場の多様性を認識し、ユニット価格の異なる市場とネットワークを構築していくやり方もある。
- 最新の交渉テキストでは、新たに「緩和成果」という文言が登場した。クレジット、排出枠という文言で表現することに断固として反対する国があるためである。この用語だけでは市場は創出されない。約束草案 (INDC) の目標を達成するために活用可能な市場の条件を規定することが大事である。
- 国連主導による中央集権型メカニズムが必要である。独自の市場メカニズムを運営する意欲がない国もあるし、予算を用意できない国もあるからである。日本は二国間クレジット制度 (JCM) を構築したが、皆が日本のようにできるわけではなく、小国には難しい。独自のメカニズムは可能であるが、チャレンジングである。
- 「第 3 条 ter : 持続可能な開発を支援するメカニズム」において 4 オプション示されている。オプション 4 はボリビアが主張する非市場メカニズムに係るもので別パラグラフにすべきであり、オプション 1~3 を主眼に検討すべきである。オプション 3 は新市場メカニズム (NMM) に係るものである。NMM はドーハで設立されたが、まだ開始しておらず、パンドラの箱であるため、別のメカニズムを構築すべきではないか。
- 「第 6 条 : 資金」で炭素価格付の創出を記しているが、紛らわしい条項なので削除すべきである。交渉テキストで規定すべきは、価格創出のための条件である。地球規模での炭素税は現実的でない。

## ■ パネルディスカッション及び質疑応答 (敬称略)

### 3. Thomas Sterner (ゲーテンブルク大学) :

- 財産権が重要である。財産権を永続的で信頼できるものとするにはフェアさが必要だ。
- EU-ETS は、コスト削減のためだけでなく、技術開発を促すために設立された。

4. Jean-Yves Caneill (EDF) :

- ETS はトップダウン手法の政策である。現在は、国内レベルでも、ETS 以外に多くの規制が登場している。
- EU-ETS 運営の難しさは、自然な市場ではなく、規制であることによる。価格のことを考えると、短期的ではなく長期的な目で市場を形成していく必要がある。市場安定化リザーブ (MSR) は長期的な視点で価格問題に対処するために導入された。

5. Christina Hood (IEA) :

- 京都議定書は巨大な市場を創出したが、新しい交渉テキストにおいて市場はあまり重きを置かれていない。京都議定書のように拘束力のある手段としてではなく、自主的なオプションとして市場が位置づけられている。
- 多くの国が削減目標とそれを達成するための取組を発表しており、目標の定め方が様々であるため、新たな枠組みは複雑になる。
- 環境十全性の担保、異なる取組における二重計上の回避、の 2 点を新合意に盛り込み、達成しなくてはならない。COP 決定には、クリーン開発メカニズム (CDM) のような中央集権型のクレジット・メカニズム及び登録簿システムが含まれる。

Q. (不明) :

- クレジットやユニットといった文言をテキストに記載することに対して強固に反対している国はどこか。

A. Christina Hood (IEA) :

- ボリビアが市場の活用に対しており、パリでの合意は難しいと思われる。そこで協力アプローチが登場した。

Q. (不明) :

- 排出は経済と密接に関係している。ヨーロッパの景気が悪くなれば EU-ETS の取引価格も下がる。どのように対処すればよいか。

A. Thomas Sterner (ゲーテンブルク大学) :

- クレジットは貯金できるし他国へ転売することもできると信じているのであれば、2040 年かいつになるかわからないが、どこかの地域でよい価格がつくまでクレジットを手元に置いておくことである。市場ではなく財産権が大事であると繰り返し述べてきたのは、そのためである。人々がこの財産権に確信を持つようになれば、本物の市場が現れるだろう。各国がどの程度の財産権を持つべきか、決める必要がある。

A. Lars Zetterberg (IVL Swedish Environmental Research Institute) :

- 今後の EU-ETS 改革に係る議論で解決されることを期待する。現時点で回答することは難しいが、深めていく必要があると認識する。



これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。  
This is not an official report by the meeting organizer. Do not quote.

A. Andrei Marcu (CEPS) :

- 景気の低迷により、西欧もホットエアを持っていると言える。西欧のホットエアはロシアと違うのか、欧州に問いかけたい。

A. Christina Hood (IEA) :

- EU-ETS で価格が高くなる様子はないが、炭素市場は長期的な視点で鍵となる手法である。炭素市場だけに頼るのではなく、他の手法と組み合わせていく必要がある。

(報告者：OECC 小柳 百合子)

---

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版

[http://www.mmechanisms.org/info/event/details\\_oecc\\_COP21report.html](http://www.mmechanisms.org/info/event/details_oecc_COP21report.html)

英語版

[http://www.mmechanisms.org/e/info/event/details\\_oecc\\_COP21report.html](http://www.mmechanisms.org/e/info/event/details_oecc_COP21report.html)